

## 1. SDGs の基礎知識

### ②SDGs が目指すものとは

#### SDGs は何を目指しているの？

SDGs が目指すものは、「環境、社会、経済のバランスが取れた持続可能な世界」です。

私たちが豊かな生活をおくるためには、膨大な資源やエネルギー消費が必要とされています。その結果としてエネルギーの枯渇問題や自然災害を引き起こしています。

環境問題は、私たちが取り組まなければならない課題ではありますが、環境問題の解決を優先するあまり、経済活動が停滞したし、暮らしの満足度が低下することは避けなければなりません。

これからは、経済面、社会面、環境面のいずれか一つの問題解決に取り組むのではなく、複数を同時に解決していく取り組みが必要です。

#### どのように取り組めば良いのですか？

SDGs のいいところは「決まったやり方がない」ことです。

SDGs のゴールを過度に意識すると、内容の壮大さに困惑して身動きが取れなくなります。

SDGs の実践で重要なことは、適切な目標を選んで取り組むことです。それが実効的で効率的なことです。

人により「できること」と「できないこと」があります。だからこそ SDGs のどの目標に取り組むかは、社会や自然環境のあり方と自分の状況に照らし合わせて、個々が主体的に決めていく必要があります。

#### 私たちは何をすればいいの？

経済面、社会面、環境面の複数を同時に解決するためには何をすればいいのでしょうか。難しいように感じますが、これまでにない初めての取り組みなのでそう感じてしまいます。しかし、実は簡単で、まずは自分にできる身近なことから取り組むことが SDGs になります。

例えば、エコバックを持ち歩きプラスチックの袋を消費しないことも SDGs です。

ゴミが出るのでモノを買わないのではなく、モノを買う中でも減らせる消費は減らすという考え方です。

SDGs の考え方で大切なのは、「今日より明日の方がよい世界になっているかどうか」です。ゴミを一つ減らした今日は、何もしなかった今日よりも確実により世界に近づいています。

### SDGs はいつまでつづくの？

SDGs は 2030 年までの官民、営利、非営利、組織、個人を問わない国際目標であり、世界規模の問題の解決を目指す、非常に大きな目標を掲げたモノです

それでは、2030 年が到達すると SDGs はどうなるのでしょうか。国際目標としての SDGs が終了しても、考え方としての SDGs は 2030 年以降も続きます。

重要なのは SDGs という目標ではなく、考え方です。

私たちは豊かな生活を暮らす一方で、環境問題を生み出し社会の持続可能性を脅かしています。そんな中、今、私たちは問題の深刻さを認識し、SDGs の実現に向けて進もうとしています。

しかし、どれだけ画期的なイノベーションが起きたとしても長い歴史の中で生み出した問題をわずか 15 年で解決することは不可能だと考えられます。

つまり、国際目標としての SDGs が終了を迎えたとしても、地球上の問題に立ち向い続ける必要があります。

そのため「SDGs の考え方がみんなの日常に組み込まれること」が SDGs の目標とも言えますそして、この先の長い努力の結果として、極端な貧困を含む、あらゆる形とあらゆる側面の貧困をなくすことができたときが、SDGs をやり終えたときとなります。

<執筆者> 株式会社 吉岡経営センター  
コンサルティング部 下村 和

<プロフィール>

中小企業の人事賃金制度構築支援を中心に活動。中小企業診断士の資格を有する。